

猪瀬東寧 あいのせ 畫家。天保九年十月五日下總國豊田郡三坂新田生れ、  
 明治四十一年四月二十三日歿（八三六一一九〇）。諱忠恕（恕と修す）、  
 字如心、幼名忠五郎。別號專齋、晚香堂、超光騰霧樓等。安政二年出  
 郷して諸州を歴遊、京に至り日根對山の門に入る。明治二年東京下谷  
 の下居、十四年第一回内國博覽會の出品とした八曲屏風を以て褒狀下附  
 以來、褒狀牌二十五回、木村銀盃十七回等受賞多數の他、官命を受け  
 て山水畫をパリ萬國博覽會の出品。二十二年以降日本美術協會審査員  
 を務めた。

富村登善 『畫人猪瀬東寧』 (昭和二十四年十月一日茨城・富村登刊)  
 がある。

